

ピースおおさかのリニューアルに 府民・市民の声を！シンポジウム

日時：2013年6月29日（土）午後1時30分～4時30分
（開場 1時15分）

（時間に余裕のある方は1時からの会場設営にご協力下さい）

会場：大阪市立港区民センター・ホール

大阪市港区弁天2-1-5 TEL：06-6572-0020

（地下鉄中央線、JR環状線「弁天町」下車 南西へ徒歩7分）

参加費：500円

主催：ピースおおさかのリニューアルに府民・市民の声を！シンポジウム実行委員会
（連絡先：15年戦争研究会事務局

593-8303 堺市西区上野芝向ヶ丘町2-15-76 横山篤夫 気付）

<当日プログラム>

●基調提案

・上杉聡（15年戦争研究会）

●発題者（順不同）

・博物館の経験者から 渡辺武さん

（元大阪城天守閣館長）

・教育現場の先生から 橋口哲さん（小学校教員）

・歴史学研究者から 人見佐知子さん

（甲南大学人間科学研究所博士研究員）

・平和学から 奥本京子さん（大阪女学院大学教授）

・在日外国人から 方清子さん（日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワーク代表）

・空襲被害者から

久保三也子さん（大阪大空襲の体験を語る会代表）

伊賀孝子さん（大阪戦災傷害者・遺族の会代表）

●会場からの発言、討論、集会宣言



シンポジウム実行委員会参加団体

（アイウエオ順 2013年6月10日現在）

大阪空襲訴訟原告団・弁護団・支える会／大阪戦災傷害者・遺族の会／大阪大空襲の体験を語る会／大阪中国人強制連行をほりおこす会／大阪母親大会連絡会／大阪府高等学校退職教職員連絡協議会（高退教）／大阪平和委員会／大阪歴史科学協議会／大阪歴史学会／韓国の原爆被害者を救援する市民の会大阪支部／関西・沖縄戦を考える会／関西わだつみ会／原水爆禁止大阪府協議会／神戸学生青年センター／子どもたちに渡すな！あぶない教科書大阪の会／15年戦争研究会／新日本婦人の会大阪府本部／高槻「タチソ」戦跡保存の会／南京大虐殺60周年大阪実行委員会／花岡問題全国連絡会／「ピースおおさか」の危機を考える連絡会／非核の政府を求める大阪の会／東淀川9条の会／「日の丸・君が代」強制反対ホットライン大阪／平和遺族会大阪支部

<よびかけ>

平和施設として大阪国際平和センター（以下「ピースおおさか」）が建設されて 22 年目たち、これまで 170 万人を超える国内外の人々が、子どもたちを中心に、参観してきました。平和を願う私たちにとって、ピースおおさかは誇りとなっています。

このたび、そのピースおおさかのリニューアルが決まり、4月9日に「展示リニューアル構想」が同館から公表されました（<http://www.peace-osaka.or.jp/>）。リニューアルする理由は、22年をへて施設が劣化し、展示内容の改善をはかるためとされています。ただ、これまでピースおおさかは、戦争を望む勢力によって批判されてきた経過もあります。このため私たちは、ピースおおさかが守ってきた「設置理念」をふまえ、より良く再生するよう期待し、改善への意見を様ざまに伝えて来ました。

しかし今回の「展示リニューアル構想」を読むと、一部に改善をはかる内容も示されていますが、重要な内容が抜けたり、不十分な点が多くあります。

私たちは、そのことを伝えるため、5月11日にピースおおさかの館長に面会を求め、懇談をし、その席で以下の5点をお伝えしました。

- ①「空襲による犠牲者に寄り添い、追悼の場を中心に展示を考える」という点では、より良い展示への方向が示されていて賛同できます。しかし、
—
- ②「身近な大阪から出発し、戦争遺物に語らせる展示」という点は、まだ不十分と思います。
- ③「次世代をになう子どもが理解し、子ども自らが育つ展示」が必要と思いますが、この点も不十分だと考えます。
- ④「大阪空襲を世界の空襲の歴史の中に位置づける」ことが、他国との関係でも重要と考えますが大きく欠落し、世界各地の空襲被害を展示計画に入れていません。
- ⑤「戦争の悲惨さは、広い視野と、いまでも続く傷跡と平和の危機のなかでとらえる」ことが大切と思いますが、過去の一時期の大阪に視野が限られ、不十分です。

館長は私たちに、ピースおおさかに関心を持ち支援するために声を寄せてくださったことに感謝すると述べられ、構想は骨格であり、補足、改善のためのご意見には聞く耳を持ち、リニューアル監修委員会にも伝えると述べられました。

しかし、一部議員による干渉、あるいは「廃館」要求の声も強く、設置理念にそった展示リニューアルの実現は、なかなか厳しい状況であることも押さえねばなりません。

そこで私たちは、ピースおおさかのリニューアルに心を寄せる方がたや諸団体に、このたび広くお集まりいただき、ピースおおさかのリニューアルに関わる機関や関係者の方がたもお招きし、シンポジウムを開催したいと思いました。各界から「展示リニューアル構想」への意見、批判、注文、要望などを出し合い、意見を交換する場にしたいと思います。多くの皆さんの声をピースおおさかのリニューアルに反映させるため、裏面のシンポにぜひご参集下さい。